



第34号

令和4年1月1日
高山赤十字病院

病院長よりこんにちは！

拝啓 初春のみぎり、新春のお慶びを申し上げます。本年も開業医の先生方をはじめ関係機関の皆さまには、患者さんのご紹介など相互連携にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

新年にあたり当院の明るい話題として本年100周年を迎えます。1922年（大正11年）11月に大野郡病院から日本赤十字社に移管して高山赤十字病院が設立されました。この100年の間、当院は飛騨地区の基幹病院としてその役割を果たしてきたことを思いますと、先人たちのご苦労が偲ばれますし、また地域の方々との厚い信頼関係があったからこそ存続したものと推察し、地域の開業医の先生方をはじめ住民の皆さまに心より感謝申し上げます。

過去には1992年（平成4年）に70周年を祝し、記念誌が発刊されています（時光直樹 元院長）。それから30年経過し、その間に医療はさらに発展し新しい治療法も開発されました。当院では今年3月には最新式のアンギオ装置を設置する予定ですが、地域の方々にはこうした医療機器や新しい治療法の恩恵を受けてもらえるものと期待しています。その他、記念式典はウイルスの機嫌次第であり不確定な部分がありますが、簡素に実施したいと考えています。さらに市民の方にも参加してもらえるようなイベントも計画していますが、今年は病院機能評価の受審を控えているため、再来年にじっくりと案を練って開催したいと考えています。

二つ目の明るいニュースとして、昨年8月より眼科は常勤医不在のため週3日の外来診療のみでしたが、4月より富山大学眼科（林 篤志教授）医局から専門医1名が常勤医として着任予定のため入院患者さんの受け入れが可能となります。おおまかな手術日の週間スケジュールは別添の通りですが、外来などその他の詳細は順次お知らせいたしますのでよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスにつきましては新年早々高山市内にも陽性者が出て、県内、国内ともその数は急増しており、第6波の予兆を強く感じさせる勢いです。オミクロン株がどの程度を占めているのか不明ですが、今後とも基本の感染対策（うがい、手洗い、マスク着用、ソーシャルディスタンス）を徹底し、みなさまと共にこの難局を乗り切りたいと思います。新年が皆さまにとって幸多き年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。 敬具

病院長 清島 満



◆◆眼科 4月新体制でスタートします！◆◆

約半年間、常勤医不在のため外来のみ運営してまいりましたが、このたび4月から富山大学より常勤専門医1名をお迎えします。

つきましては、手術を再開しますので患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただきますようお願い致します。

■手術について■

万全の新体制で患者さんをお迎えするべく最新の医療機器を揃え、4月4日より硝子体及び白内障の手術を再開します。

日 に ち	手 術	担 当 医
第1 月曜日（予定）	硝子体手術 白内障手術 硝子体注射	富山大学眼科 （林教授・柳沢准教授・医局医師）
第2 水曜日（予定）		
第3 水曜日（予定）		
第4 金曜日（予定）		

- ・白内障、硝子体手術ともに、2泊3日の入院となります。
- ・網膜剥離や糖尿病網膜症が進行した方は、富山大学病院等で手術を行います。

■外来について■

月曜日～金曜日まで休診日なく通常外来を行います。

なお、第1月曜日は高井祐輔先生の外来日となっています。

医師のご紹介、外来スケジュールなどの詳細は次回以降、お知らせします。

患者さんのご紹介・ご予約・お問い合わせは…

開業医のみなさまからのご予約 … 地域連携係 FAX：0577-32-1165

患者さん&ご家族からのご予約 … 予約センター TEL：0120-214-489

眼科外来 … TEL：0577-32-1111（代表）